

# 一次救急、二次救急、三次救急とは

大野内科医院 大野 建支



皆さんが「健康」を考える

ときは、どういうときでしょう。調子が良くどころも身体が痛くなく、生活が順調にできるときには「健康」のこと。急な病気が「健康」のこと。急に熱が出たり、お腹が痛くなると「健康」であったときはいかに良かったかが身にしみて分かると思います。

急な病気が、人間には避けられないものだと思います。普段から身体の状態に気を付けて、健康診断で病気を早期発見しましょう。持病のある人は、病気が悪くならないよう、かかり付けの医師から指導を受けましょう。それでも急に病気がなったときの話をしてみようと思います。

医療機関には診療時間が決まっています。平日の診療時間内の急病については、まずかかり付けの病院に相談しま

しょう。

急病でも、風邪での急な発熱や食あたりで腹痛になったなどの軽微な病気の救急医療を「一次救急」といいます。一次救急は、診療時間内はかかりつけ病院や一般の病院で診療を受けましょう。時間外や休日ばかり付けの医師に相談し、当面の対処を教えることも、翌日の診療時間内に診療を受けましょう。それでもだめなら、休日当番病院や夜間救急病院に相談しましょう。

次に、急病でも意識はしっかりあり、肺炎や胃腸炎で食事が全く食べられず、入院が必要な病気の治療を「二次救急」といいます。これは、地域の入院ベッドのある基幹病院が担当します。夜間や休日にも対応できる中核病院を作ることが医療体制の当面の課題です。

最も重症で、意識の障害が

ある病気や心筋梗塞、脳卒中、重症の交通外傷などの病気の治療を「三次救急」といいます。県では東・中・南予に1カ所ずつ救命センターを設置し、診療に当たっています。南予では市立宇和島病院が三次救急担当となっています。

現在、時間外の診療は、一次も二次もかなりの部分を市立宇和島病院が担当しており、負担が大きくなっています。宇和島医師会では、月々金曜日に、深夜までの3時間、市立宇和島病院に医師を派遣し、一次救急のお手伝いをしています。また、JCHOU宇和島病院と宇和島徳洲会病院は、週に1回ずつ二次救急までの夜間対応をしています。

皆さん、救急医療体制がこれからも長く存続するため、上手に救急病院にかかるようにしましょう。

## 余暇のひととき

吉田短歌会	わかば女性川柳会	萌の会	桃李句会
心まで枯らさぬように本を読む 本物を身に着けてこそ目利きです スマホ持つ指に本たち寄りつかぬ 出会いとは神のいたずら笑わせる 息上がる程に歩くと脂肪燃え かくしごと寝言によってあかさされる 寝言でもいい愛していると云われたい 大部屋はいびき寝言のシンフォニー 秒針の音さえ眠い昼下がりに たかが寝言されど許せぬ腹の虫 野司にみどり萌えたつはこべらを食みし戦後 も遠くなりた 木の元に今生まれしか熊蟬の濡れるる翅の透 きて輝よふ 揚花火にふと爆音が胸よぎる戦中戦後を生き 来し我れは かげろふの揺れるるなかへ歩を運ぶ爆心地へ の一歩重たし	露草や母の見守りたまふごと 境内は伊吹の大樹蟬の殻 涼風や竹の葉ずれの里の家 風蘭の風待つさまに咲き揃ひ 試合終へ球児の夏の終はりけり 風は幽かに送り火の立ちあがる 森田 たみ	今井久美子 今城 妙子 櫻井 香 櫻井 良子 宮崎 道子 森田 たみ	ほこほこと人柄の味豆の飯 箭を掘り箭の刺身かな 啓蟄やおのれの殻を破りたる 余生とはいかなるものか初日記 麦笛はデートの合図アンダンテ 真実を闇に葬り花散りぬ 青春の歌声喫茶春の昼 過去からの声に呼ばれて野蒜食ぶ 齊藤 真人 横山 博子 今城 夏枝 大野きよ女 荒川 元子 佐々木いさを 菊池 滋子 谷岡 武城